

PRESS RELEASE (2011/04/21)

日本・EUの研究開発協力の成果を発表

- ワークショップ「エネルギーと物質科学における日欧研究開発協力」 -

九州大学とEUインスティテュート・イン・ジャパン九州は、日欧産業協力センターの行う「日本におけるEUの第7次研究枠組み計画（FP7）情報サービス事業（J-BILATプロジェクト）」に協力し、第2回成功事例ワークショップを福岡にて共催します。エネルギーとナノテクノロジー、物質科学・生産技術関連分野での日EU間の研究開発協力の現状と展望が議論されます。

背景

2009年11月に署名された日・EU科学・技術協力協定は、2011年3月29日に正式に発効し、日欧間の研究協力の一層の強化が期待されています。日欧産業協力センターは、2010年1月から3年間の予定で日本におけるEUの第7次研究枠組み計画（FP7）情報サービス事業（J-BILATプロジェクト）を立ち上げて日・EUの研究協力に関する有益な情報を発信しており、時宜にかなった活動として今後の益々の貢献が期待されています。

また、九州大学では従来からEU圏内の大学・研究機関との連携による多くの世界的な研究実績があり、本年4月には、九州大学、西南学院大学、及び福岡女子大学の3つがコンソーシアムを組むEUインスティテュート・イン・ジャパン九州が発足、福岡を中心とした九州地区でのEU研究や研究・教育での交流の拠点として様々な活動が計画されています。

これらを踏まえ、このたび、九州大学、EUインスティテュート・イン・ジャパン九州及び日欧産業協力センターの共催によるワークショップを開催することとなりました。

概要

J-BILAT 第2回成功事例ワークショップ（詳細は別紙参照）

キーワード：欧州との連携、低炭素化、新エネルギー・新素材、省エネルギー、生産技術

日時：2011年5月25日（水）午後2時から

会場：アクロス福岡 会議室 606 〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号

詳細 URL: http://www.j-bilat.eu/seminar/BPSW_2

効果

関連分野での特に欧州との連携に関する現状を幅広い視点から捉える絶好の機会です。学界、産業界双方から、日本人と在日外国人研究者の参加が見込まれ、九州大学内外の研究機関同士や産業界・行政組織との交流の場としても機能します。

今後の展開

このワークショップが機会となり、九州地区と欧州の研究・開発における連携の強化が期待されます。現在のところ、九州地区の機関からのFP7参加例は無く、本ワークショップの開催を契機とした今後の参加も見込まれます。

【用語解説】「FP7」とは、

欧州全域に渡って研究・開発を包括的に支援する仕組であり、欧州委員会の研究総局が管轄しています。「協力Cooperation」、「基盤整備（Capacity）」、「アイデア（Ideas）」、「人材（People）」、「欧州原子力共同体（EURATOM）」の5つのプログラムからなり、特に将来実用化の可能な研究に関して幅広い支援が行われています。全世界に門戸が開かれており、高所得国として直接の予算措置には制限がつくものの、日本からもほぼ全てのプログラムに参加が可能です。

【内容に関するお問い合わせ】

日欧産業協力センター
プロジェクトマネジャー（J-BILAT担当）市岡 利康
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3
ラウンドクロス一番町4階
Tel: (03)-3221-6161
Fax: (03)-3221-6226
Mail: toshiyasu.ichioka@eu-japan.gr.jp

【その他のお問い合わせ】

九州大学 学術研究推進部学術研究推進課
学術研究企画係長 世利 政則
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10-1
TEL: 092-642-7368（内99-8018, 8424）
FAX: 092-642-7090
E-mail gjgkikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

2011年4月18日

J-BILAT project

第2回成功事例ワークショップ

「エネルギーと物質科学における日欧研究開発協力」

キーワード：「欧州との連携」「低炭素化」「新エネルギー・新素材」「省エネルギー」「生産技術」

2nd Best Practice Sharing Workshop

“EU-Japan Collaboration in Energy and Material Sciences”

keywords: cooperation with Europe, low carbon, new energy, new materials, energy saving, manufacturing technologies

1. 趣旨：

2009年11月に署名された日・EU 科学・技術協力協定は、2011年3月29日に正式に発効し、日欧間の研究協力の一層の強化が期待されている。日欧産業協力センターは、2010年1月から3年間の予定で日本におけるEUの第7次研究枠組み計画（FP7）情報サービス事業（J-BILATプロジェクト）を立ち上げて 日・EUの研究協力に関する有益な情報を発信しており、活動の一環として 第2回成功事例ワークショップを開催し、エネルギーとナノテクノロジー、物質科学及び生産技術分野での日欧間の研究協力をとりあげる。詳細な仕組みと事例報告に加え、参加者を交えた議論により連携強化の可能性を探るほか、関連分野で使えるマリーキュリープログラムや欧州研究評議会（ERC）による助成の紹介も行う。

Background and Objectives

The science and technology agreement between the EU and Japan, signed in November 2009, has finally come into effect on 29th March 2011 and further reinforcement of the EU-Japan cooperation in R&D is expected. Since the beginning of 2010, the J-BILAT project, coordinated by EU-Japan Centre for Industrial Cooperation, has been promoting EU-Japan collaboration in R&D and innovation, supplying useful information mainly in Japanese. In this 2nd Best Practice Sharing Workshop on Energy, Nanotechnologies, Materials and Production Technologies, detailed presentations of the relevant programmes of FP7 (Cooperation, People, ERC, etc) will be given and the audience as well as speakers will be invited for a discussion of the potential and outlook of the EU-Japan cooperation.

2. 共催：九州大学、EUIJ 九州（後者は日・EU フレンドシップウィーク¹及びEUIJ九州シンポジウムシリーズの一環として）

¹ <http://www.euij-kyushu.com/jp/EU-Japan%20Friendship%20Week/index.html>

Co-organizers: Kyushu University, EU Institute in Japan, Kyushu (for the latter, as EUIJ-Kyushu Symposia Series#3²)

3. **対象:** 公的研究機関及び企業の研究者、研究担当マネージャー、助成団体関係者等 50-60名
Target: Researchers and research managers from public/private organizations, funding agencies and other multipliers, 50-60 participants

4. **日時:** 2011年5月25日 (水) 14:00 ~ 18:00 (受付開始13:30)
Date: 25th May 2011 (Wed), 14:00 – 18:00 (registration starts at 13:30)

5. **会場:** アクロス福岡 会議室 606 (福岡市)
交通案内等の詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.acros.or.jp/access/>

Venue: Acros Fukuoka, Conference Room #606 (Fukuoka)

For directions, please visit the venue's website:

<http://www.acros.or.jp/english/access/>

6. **使用言語:** 日本語または英語、同時通訳有り・無し
Language: Japanese or English, with/without simultaneous interpretation

7. **参加費及び参加登録:**

参加は無料ですが、事前登録をお願いしています。オンライン登録(<http://www.j-bilat.eu/registration-seminar>)、もしくは、氏名(ふりがな及びアルファベット)、所属(和名・英名)、役職(和名・英名)、電話番号、メールアドレス、懇親会への参加の有無をご明記の上、以下の担当者までお申込み下さい。当日空きがあれば会場での登録も可能です。

(プロジェクトマネージャー 市岡 利康、E-mail: toshiyasu.ichioka@eu-japan.gr.jp)

Participation is free, with advance registration. Registration can be done either through the online form (<http://www.j-bilat.eu/registration-seminar>) or by sending an e-mail to the project manager (toshiyasu.ichioka@eu-japan.gr.jp) with the following information: name, affiliation, position, phone number, e-mail address, and participation in the reception (yes or no).

8. **概要** (変更の可能性あり) :
最新版は以下のウェブサイト随時掲載します。 http://www.j-bilat.eu/seminar/BPSW_2

Programme (subject to change):

The latest version will be posted on the following web site:

http://www.j-bilat.eu/seminar/BPSW_2

² <http://www.euij-kyushu.com/Symposia%20series/index.html>

時間 言語	概要
14:00-14:10 日	開会の挨拶 Opening 九州大学理事（副学長） 藤木 幸夫 教授 Prof. Yukio Fujiki, Trustee (Vice President), Kyushu University
14:10-14:30 日/英	EUIJ 九州が目指す日欧の協働 The EUIJ-Kyushu for a Japan-EU partnership EUインスティテュート・イン・ジャパン九州 代表、九州大学大学院法学研究院 八谷 まち子 教授 Prof. Machiko HACHIYA, Director, EUIJ-Kyushu
14:30-14:50 日/英	新エネルギー政策 (仮題) New energy policy of Japan (TBC) 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課長 赤時 孝治 氏 Mr. Takaharu AKAJI, Director, Energy Policy Division, Natural Resources, Energy and Environment Department, Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry
14:50-15:10 日/英	2030年に向けたパワーエレクトロニクスの新しい役割 New Role of Power Electronics towards 2030 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 大橋 弘通 博士 Dr. Hiromichi OHASHI, Energy Technology Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
15:10-15:30 日/英	燃料電池開発における日欧連携の重要性 Importance of Collaboration between Japan and Europe on development of fuel cell, a new energy generator 九州大学工学研究院 石原 達己 教授 Prof. Tatsumi ISHIHARA, Graduate School of Engineering, Kyushu University
15:30-16:00	お茶を飲みながらの議論とネットワーキング Networking break with coffee/tea
16:00-16:40 日/英	FP7 エネルギー、ナノテクノロジー、物質科学及び生産技術分野、及び関連するプログラム(People, Ideas)の仕組みと日本からの参加事例 Details of the FP7 Energy, Nanotechnologies, Materials and New Production Technologies and other relevant programmes (People, Ideas) including examples of Japanese participation 日欧産業協力センター J-BILAT担当プロジェクトマネージャー 市岡 利康 Dr. Toshiyasu ICHIOKA, EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

16:40-17:50 日/英	<p>FP7 エネルギーとナノテクノロジー、物質科学及び生産技術分野での参加事例報告と今後の参加促進へ向けての議論 Case studies and discussion for the further promotion of Japanese participation in FP7, in the areas of Energy, Nanotechnologies, Materials and Production Technologies</p> <p>座長: ファブリツィオ・ムラ、日欧産業協力センター、J-BILAT プロジェクト代表 Moderator: Dr. Fabrizio MURA, Deputy General Manager, EU-Japan Centre for Industrial Cooperation</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨説明 Introduction (5 min.) ● IMS2020 project (15 min.) 慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 中野 冠 教授 Prof. Masaru NAKANO, Graduate School of System Design and Management, Keio University ● 討論 Moderated discussion (45 min., to be detailed) Dr. OHASHI, Prof. ISHIHARA, Prof. NAKANO (TBC) ● 結論 Conclusion (5 min.)
17:50-18:00 日/英	<p>結辞 Closing ファブリツィオ・ムラ、日欧産業協力センター、J-BILAT プロジェクト代表 Dr. Fabrizio MURA, Deputy General Manager, EU-Japan Centre for Industrial Cooperation / J-BILAT Coordinator</p>
19:00-21:00	<p>ネットワーキングのための懇親会 Networking reception</p> <p>Restaurant & Bar Blossio http://www.blossio.jp/</p>